

# 前橋市社会福祉審議会 第6回高齢者福祉専門分科会 議事録

◆ 日 時 令和2年8月25日(火) 午後1時30分～午後2時40分

◆ 場 所 前橋市第一コミュニティセンター 2階ホール

◆ <出席者> 16人(敬称略)

委員： 牛久保美津子 (群馬大学大学院)  
長谷川亮輔 (群馬弁護士会)  
仲道宗弘 (群馬司法書士会)  
西野郁生 (前橋市歯科医師会)  
矢嶋美恵子 (群馬県看護協会)  
塚田昌志 (前橋市社会福祉協議会)  
伊藤渉 (前橋市老人クラブ連合会)  
小林建夫 (前橋市民生委員・児童委員連絡協議会)  
角張桂子 (群馬県老人福祉施設協議会 中毛ブロック)  
野中和英 (群馬県介護支援専門員連絡協会 前橋圏域支部)  
武井謙介 (群馬県在宅福祉サービス事業者協議会)  
三俣和哉 (群馬県地域密着型サービス連絡協議会)  
櫻井洋一 (臨時委員)  
猿山政代 (臨時委員)  
高野綾菜 (学生オブザーバー)  
松村朱莉 (学生オブザーバー)

<欠席者> 3人

橋爪洋明 (前橋市医師会)  
桑原英眞 (群馬県老人保健施設協会)  
児島もか (学生オブザーバー)

<傍聴者> 0人

- ◆ 議事内容
- 1 開会
  - 2 委員の変更及び新任の委員とオブザーバーの紹介
  - 3 あいさつ
  - 4 議事
    - (1) 第5回高齢者福祉専門分科会(書面開催)の結果について(報告)
    - (2) 第8期まえばしスマイルプランの施策目標・事業体系について(協議)
    - (3) その他
  - 5 その他
  - 6 閉会

◆ 配布資料

**資料1** 第5回高齢者福祉専門分科会(書面開催)の結果について

**資料2** 第8期まえばしスマイルプランの施策目標・事業体系について

**当日配付資料** 「介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を確保するための基本的な指針(案)」について

## 1 開 会

信澤長寿包括ケア課長

## 2 委員の変更及び新任の委員とオブザーバーの紹介

信澤長寿包括ケア課長

- ・小林委員就任（前橋市民生委員・児童委員連絡協議会）
- ・伊藤委員就任（前橋市老人クラブ連合会）
- ・櫻井委員、猿山委員就任（臨時委員（公募選考））
- ・児島オブザーバー、高野オブザーバー、松村オブザーバー就任（公募選考）
- ・委員16名中14名の出席により本分科会が成立していることを報告
- ・会議及び会議録が公開であることを報告

## 3 あいさつ

（竹淵福祉部長）第5回の分科会においては、コロナ禍の勢いにより書面開催としたが、皆様よりたくさんのご意見をいただき感謝申し上げます。この後、第8期のスマイルプランの施策目標について説明があるが、皆様から忌憚のないご意見をいただければありがたい。皆様の意見を盛り込みながらより良いプランを策定できればと思う。引き続きご協力をお願いしたい。

## 4 議 事

（1）第5回高齢者福祉専門分科会（書面開催）の結果について

- ・資料1に基づき事務局から説明

<質疑等>

（武井委員）通所リハビリが4か所減少し、通所介護が増加しているとあるが、前橋市特有のものか、それとも全国的な傾向か。

（事務局）全国的な傾向かは把握していないが、通所介護が増加した原因は、まず地域密着型通所介護からの転換がある。平成28年度に地域密着型通所介護サービスが始まり、小規模の通所介護事業所が移行したが、その後減少し、一般の通所介護事業所が増加した。

通所リハビリの減少については、介護老人保健施設などの施設みなしの数は変わらないが、医療機関などの医療みなしの数が減っている。理由は医師の離職やしばらく使われなかったことなど。

また、市内で有料老人ホームとサービス付き高齢者向け住宅が年々増加しており、施設が通所介護サービス事業所を併設していることも、通所介護の増加原因と考えられる。

（牛久保会長）「ACP」ではなく「人生会議」という言葉で広く住民に周知する方針が示されたと思うが、アンケートでは「ACP」として調査したのか。

（事務局）「ACP」に「人生会議」を併記しアンケートを実施した。今後も「人生会議」を併記し、市民周知等対応していきたい。

(2) 第8期まえばしスマイルプランの施策目標・事業体系について(協議)

・資料2に基づき事務局から説明

<質疑等>

(牛久保会長) 第8期の新規事業の説明をお願いしたい。

(事務局) 第7期では基本理念に各事業が直接繋がっていたが、目標の位置づけがなかった。

第8期では施策目標を設定し各事業を繋げた。「目標Ⅱ 高齢者を支える生活支援体制の構築」3)の「災害等発生時の高齢者支援体制の整備」、「目標Ⅴ サービスの充実と暮らしの基盤の整備」4)の「人材の確保・育成及び業務効率化」で新しい内容の検討をしている。

(牛久保会長) 具体的なところは次回以降ということで、今回は委員に施策の方向性などをご意見いただくということか。

(事務局) 今回は大きな枠組みについて皆様にご審議いただきたい。

(西野委員) 感染症対策について、介護現場では費用がかかり物資もない状況で大変な思いをされていると思う。そういった現場への支援を具体的に挙げてもらいたい。

(事務局) 高齢者施設でクラスターに至っていないことについて、事業者、施設の皆様の努力に感謝申し上げる。現在、アンケート調査を実施しているところ。給付実績も参考に、現実にはどの程度困っているのかを調査。調査結果から補助金など、どのような支援を行うか検討している。早いもので9月の補正予算で対応できる予定。

(野中委員) 普段ケアマネジャーとして仕事をしており、介護人材が足りないことを感じている。「目標Ⅴ サービスの充実と暮らしの基盤の整備」の中に「人材確保」という言葉が入ってもいいのでは。また、感染予防については資料のどの項目に入ってくるのか。

(事務局) 現在、市内各施設に雇用人数・採用方法等の課題を把握するためのアンケートを実施している。その結果を踏まえ、市としてできることを検討したい。また、感染症対策については、「目標Ⅱ 高齢者を支える生活支援体制の構築」3)の「災害発生時の高齢者支援体制の整備」の他に、各事業の中で記載する予定。

(塚田委員) 感染症対策について、「目標Ⅱ 高齢者を支える生活支援体制の構築」にあるが、「目標Ⅵ 安定した介護保険制度の運営」1)の「給付の適正化」のうち、「(7) その他の適正化事業」ではどうか。

(事務局) 確認して検討する。

(櫻井委員) 高齢者が将来自立できるようにすることが一番重要と思う。健康管理、健康維持に軸足をおいた方策を考えていただきたい。前橋市は一步踏み出して、高齢者が増えても介護の認定が減るような施策を考えていただきたい。

(牛久保会長) 自立支援は介護保険の最大の理念だと思う。これについては「目標Ⅲ 介護予防・健康づくりの推進」でうたわれていると思うので、介護予防が浮き上がるような記載をお願いしたい。6つの施策目標があるが、何を基準に並べたのか。

(事務局) 対象者について最も裾野の広いところから徐々に狭まるような順番で設定した。

(仲道委員) 「目標Ⅱ 高齢者を支える生活支援体制の構築」4)の「ともに生きるまちづくり」の中で「地域共生社会の推進」という言葉がある。単なる高齢者の問題だけではなくて、障害者、子供等、地域のすべての問題を包括的に解決するイメージだと思う。縦割り行政などの従来の組織のあり方を見直す必要があると思う。どのように推進

するのか。

(事務局) 地域共生社会はかなり広い概念になる。行政だけで推進できるものではなく、社会福祉法人や社会福祉協議会等と連携して、高齢者や障害者のような弱者を丸ごと包括する社会という大意だと思う。スマイルプランでは、上位計画である地域福祉計画等との整合を図りながら進めていくため、高齢者福祉・介護保険事業計画の中で長寿包括ケア課及び介護保険課としての取組を記載したいと考えている。

(仲道委員)「住民主体のサービスの育成」について、新規事業としてどのようなことを考えているか。

(事務局) 今年度、社会福祉協議会で町単位を活動主体として町社協の育成に取り組んでいただいている。住民主体の町単位の活動を支援できるような助成などを検討している。

(塚田委員) 今年度から、社会福祉協議会は町単位での支え合いについて取り組んでいる。具体的には、町ごとに困っている方のニーズを調査し、支えることのできる方と利用者を把握し、どのように結びつけるかを検討している。マニュアルを示しつつ、町の役員皆様と考えながら進めている。

(三俣委員) 認知症ケアパスの周知、GPS貸出と事前登録制度の実績についてお聞きしたい。

(事務局) 認知症ケアパスは毎年9月頃に約1万部作成。必要な方に必要な情報を届けられるように考え、配布の機会があれば積極的に配布している。今年度は残り約1千部。現在、令和2年度分を作成中。さらに効果的な配布方法や配布先等があればご意見いただきたい。GPS貸出は、新規と中止が同数程度で、全体の利用者数としては著しい増加はない。平成29年度に実証実験として手のひら静脈認証の登録を開始した。これまで手のひら静脈認証での照合実績はないため、事業を継続するかどうか、また、これに代わる方法について検討しているところ。

(伊藤委員)「目標Ⅲ 介護予防・健康づくりの推進」の中で「(3) 老人クラブ活動の推進」とあるが、高齢者は増えている一方で会員数が減っているため、対策を記載していただきたい。

(事務局) 老人クラブの実態は把握しているため検討したい。

(塚田委員) 国が地域包括ケアシステム、地域共生社会を進めていることから、高齢者だけではなくて障害者についても記載して欲しい。

(小林委員) 地域や施設での看取りについてはどこに記載するのか。

(事務局) 昨年度、在宅医療・救急医療連携推進WGで、高齢者の急変時の対応や看取りについて、現状と課題を把握するため、高齢者施設へアンケートを実施することとなり、その結果、ACPの推進に取り組むこととなった。しかし、コロナの影響で今年度はワーキングが未開催のため、スマイルプランの中に反映できるものについては今後検討したい。

(牛久保会長) この施策目標・事業体系について、今回のご意見を踏まえて、第8期スマイルプランの策定を進めていくことでよろしいか。委員の皆さんの承認をいただきたい。

(委員一同) 承認

(3)「介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を確保するための基本的な指針(案)」について

- ・配付資料に基づき事務局から説明  
〈特に質疑応答なし〉

## 5 その他

(事務局) 次回は令和2年10月29日(木)第一コミュニティセンター2階ホールで開催予定。詳細は後日お知らせする

## 6 閉会